

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 HOPEプロジェクト

1. 事業の趣旨・目的

日本語を学ぶ機会に恵まれない外国人生活者の方たちに、短期間でも効率よく学習が進められるよう、日本語教育の専門家による学習の機会を提供する。

修了後、地域での日本語による生活のレベルアップのみならず、進学、あるいは就職へと繋いでいく。

2. 運営委員会の開催について

【概要】

| 開催日時 | 開催場所 | 出席者 | 議題 | 会議の概要 |
|-------------------------|-------------------|---------------------------------------|--|--|
| 6月2日 19:00～ 20:30 | 広島YMCA 会議室 | 高野亨 池田千恵美 近藤妙子 住本実穂 二口とみゑ | 本年度の講座開設にあたって | 「プロによる日本語指導」を掲げる。 YMCAへ再委託しない。 担当者のローテーション。 教室申しこみについて。 |
| 7月1日 19:00～ 20:30 | 広島YMCA 会議室 | 高野亨 池田千恵美 近藤妙子 住本実穂 二口とみゑ | チラシ(案)作成 翻訳・通訳について 広報について | チラシの原稿作成 中国語、韓国語、伯語、英語での翻訳を依頼する。 マスコミにも広報依頼。 |
| 9月1日 19:00～ 20:30 | 広島YMCA スタッフルーム | 高野亨 池田千恵美 近藤妙子 住本実穂 二口とみゑ | 指導のコースデザイン ・プレテストについて ・教材、指導形態について | クラス分けについて。 (申込者が多い) 教材の選択(予定変更) カリキュラム概略決定 |

【写真】会議風景の写真(撮影;高野)



3. 日本語教室の開催について

- (1) 講座名 ;HOPE 日本語学習室3
- (2) 開催場所;広島 YMCA 専門学校 206 ・ 211 ・ (地下実習室)
- (3) 学習目標;日本語教育の専門家から 短期間にきちんとした日本語指導を受け、次の学習(進学、就職、地域の日本語教室など)や地域の活動につないでいく。
- (4) 使用した教材・リソース;「JBridge 初級、中級」、「そのまんま料理カード」、日本語能力試験受験のための参考書他
- (5) 受講者の募集方法;
 - ①中国新聞、NHK ラジオにて広報を依頼。
 - ②ちらしを広島国際センター、広島留学生会館、公民館などに置いてもらう。
 - ③22 年度の受講者全員に案内状とチラシを郵送
 - ④日本語指導者・日本語ボランティアにメールで案内、ちらしを郵送
 - ⑤「華僑華人総会」などのイベントに参加してチラシを配布。
- (6) 受講者の総数 71人
(出身・国籍別内訳); 計 15 カ国 71 人
中国 (44 人) 韓国 (1 人) イギリス (2 人) スイス (1 人) アメリカ (4 人)
カナダ (1 人) ブラジル (2 人) ペルー (4 人) 台湾 (2 人) モンゴル (1 人)
オーストラリア (1 人) ニュージーランド (2 人) ベトナム (2 人)
インドネシア (3 人) 香港 (1 人)
- (7) 開催時間数(回数) 60 時間 (全 24 回)

(8) 日本語教室の具体的内容

| 回 | 開催日時 | 時間数 | 受講者数 | 国籍・母語(人) | 教授者・補助者人数 | 内容 |
|---|----------------------|-------|------|---|----------------|---|
| 1 | 9月22日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 47人 | 中国(29人) 韓国(1人) イギリス(1人) スイス(1人) アメリカ(2人) カナダ(1人) ブラジル(2人) ペルー(1人) 台湾(2人) モンゴル(1人) オーストラリア(1人) ニュージーランド(2人) ベトナム(1人) インドネシア(1人) 香港(1人) | 教授者2人 補助者2人 | 詳細はプログレスレポートを参照ください。 初級;オリエンテーション、あいさつ 中級;オリエンテーション |
| 2 | 9月27日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 37人 | 中国(18人) 韓国(1人) イギリス(2人) スイス(1人) アメリカ(2人) カナダ(1人) ブラジル(2人) ペルー(1人) 台湾(2人) モンゴル(1人) オーストラリア(1人) ニュージーランド(2人) ベトナム(1人) インドネシア(1人) 香港(1人) | 教授者2人 補助者2人 | 初級;家族の言い方、時間の言い方 中級;連体修飾/・ている/・~ そうです |
| 3 | 9月29日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 35人 | 中国(18人) 韓国(1人) イギリス(1人) スイス(1人) アメリカ(2人) カナダ(1人) ブラジル(2人) 台湾(2人) モンゴル(1人) オーストラリア(1人) ニュージーランド(2人) ベトナム(1人) インドネシア(1人) 香港(1人) | 教授者2人 補助者2人 | 初級;場所の名詞確認 中級;子供の頃の話 |
| 4 | 10月4日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 31人 | 中国(16人) イギリス(1人) スイス(1人) アメリカ(2人) カナダ(1人) ペルー(1人) 台湾(2人) モンゴル(1人) オーストラリア(1人) ニュージーランド(2人) ベトナム(1人) インドネシア(1人) 香港(1人) | 教授者2人 補助者2人 | 初級;N します導入 中級;自分の性格について |
| 5 | 10月6日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 29人 | 中国(19人) イギリス(1人) アメリカ(3人) カナダ(1人) ペルー(1人) モンゴル(1人) オーストラリア(1人) ベトナム(1人) インドネシア(1人) | 教授者2人 補助者2人 | 初級;曜日、場所確認、食べ物、飲み物 中級;存在文 |
| 6 | 10月11日 | 2.5時間 | 26人 | 中国(17人) 韓国(1人) イギリ | 教授者2人 | 初級;カレンダー |

| | | | | | | |
|----|-----------------------|-------|-----|--|----------------|----------------------------------|
| | 18:00~20:30 | | | ス(1人) アメリカ(1人) ペルー(1人) モンゴル(1人) オーストラリア(1人) ベトナム(1人) インドネシア(1人) 香港(1人) | 補助者2人 | の言い方 中級;旅行にお勧めの場所 |
| 7 | 10月13日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 28人 | 中国(17人) 韓国(1人) イギリス(1人) アメリカ(1人) カナダ(1人) ブラジル(1人) ペルー(1人) オーストラリア(1人) ニュージーランド(2人) ベトナム(1人) インドネシア(1人) | 教授者2人 補助者2人 | 初級;交通手段のN 中級;位置を表す表現 |
| 8 | 10月18日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 28人 | 中国(14人) 韓国(1人) イギリス(1人) スイス(1人) アメリカ(1人) カナダ(1人) ペルー(1人) モンゴル(1人) オーストラリア(1人) ニュージーランド(2人) ベトナム(1人) インドネシア(3人) | 教授者2人 補助者2人 | 初級;形容詞修飾用法 中級;可能形:可能・受身・尊敬の整理 |
| 9 | 10月20日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 27人 | 中国(13人) イギリス(1人) スイス(1人) アメリカ(1人) カナダ(1人) ペルー(1人) 台湾(2人) オーストラリア(1人) ニュージーランド(2人) ベトナム(1人) インドネシア(2人) 香港(1人) | 教授者2人 補助者2人 | 初級;場所、日付表現 中級;性格のことば |
| 10 | 10月25日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 28人 | 中国(15人) 韓国(1人) イギリス(1人) スイス(1人) アメリカ(1人) カナダ(1人) モンゴル(1人) オーストラリア(1人) ニュージーランド(2人) ベトナム(1人) インドネシア(2人) 香港(1人) | 教授者2人 補助者2人 | 初級;日付、曜日、年 中級;~てしまう |
| 11 | 10月27日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 25人 | 中国(13人) 韓国(1人) イギリス(1人) アメリカ(1人) カナダ(1人) モンゴル(1人) オーストラリア(1人) ニュージーランド(2人) ベトナム(1人) インドネシア(3人) | 教授者2人 補助者2人 | 初級;「~に~があります」 中級;~たい/~てみたい |
| 12 | 11月1日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 24人 | 中国(15人) 韓国(1人) イギリス(1人) アメリカ(1人) カナ | 教授者2人 補助者2人 | 初級;形容詞の紹介 |

| | | | | | | |
|----|-----------------------|-------|-----|---|------------------|----------------------------------|
| | | | | ダ (1人) モンゴル (1人) オーストラリア (1人) ベトナム (1人) インドネシア (2人) | | 中級; だろう (でしよう) / かもしれない |
| 13 | 11月8日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 25人 | 中国 (12人) 韓国 (1人) イギリス (1人) スイス (1人) アメリカ (1人) カナダ (1人) モンゴル (1人) オーストラリア (1人) ニュージーランド (2人) ベトナム (1人) インドネシア (2人) 香港 (1人) | 教授者 2人 補助者 2人 | 初級; 動詞のグループ分け 中級; ~と、~ば + ~たら |
| 14 | 11月10日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 23人 | 中国 (11人) 韓国 (1人) イギリス (1人) スイス (1人) アメリカ (1人) カナダ (1人) モンゴル (1人) オーストラリア (1人) ニュージーランド (2人) ベトナム (1人) インドネシア (2人) | 教授者 2人 補助者 2人 | 初級; 着脱動詞 & グッズ 中級; 受身形 |
| 15 | 11月15日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 26人 | 中国 (13人) イギリス (1人) スイス (1人) カナダ (1人) 台湾 (2人) モンゴル (1人) オーストラリア (1人) ニュージーランド (2人) ベトナム (1人) インドネシア (3人) | 教授者 2人 補助者 2人 | 初級; いろいろな職業 中級; ~ている・~である |
| 16 | 11月17日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 24人 | 中国 (11人) イギリス (1人) スイス (1人) カナダ (1人) ペルー (1人) 台湾 (2人) モンゴル (1人) オーストラリア (1人) ニュージーランド (2人) ベトナム (1人) インドネシア (2人) | 教授者 2人 補助者 2人 | 初級; ~がほしいです 中級; 授受表現 |
| 17 | 11月22日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 24人 | 中国 (13人) 韓国 (1人) イギリス (1人) スイス (1人) アメリカ (1人) カナダ (1人) ペルー (1人) モンゴル (1人) オーストラリア (1人) ベトナム (1人) インドネシア (2人) | 教授者 2人 補助者 2人 | 初級; N だと思いません 中級; 伝聞、様態 |
| 18 | 11月24日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 25人 | 中国 (12人) 韓国 (1人) イギリス (1人) スイス (1人) アメリカ (1人) カナダ (1人) ペルー (1人) 台湾 (2人) モンゴル (1人) オーストラリア (1人) ベトナム (1人) | 教授者 2人 補助者 2人 | 初級; 辞書形導入 中級; 尊敬語 |

| | | | | | | |
|----|-----------------------|-------|-----|---|------------------|-------------------------------------|
| | | | | ナム (1人) インドネシア (2人) | | |
| 19 | 11月29日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 24人 | 中国 (12人) 韓国 (1人) イギリス (1人) スイス (1人) アメリカ (1人) カナダ (1人) ペルー (1人) モンゴル (1人) オーストラリア (1人) ベトナム (1人) インドネシア (3人) | 教授者 2人 補助者 2人 | 初級; ない形 導入 中級; 謙譲語、接続詞 |
| 20 | 12月1日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 23人 | 中国 (10人) 韓国 (1人) イギリス (1人) スイス (1人) アメリカ (1人) カナダ (1人) ペルー (1人) 台湾 (2人) モンゴル (1人) オーストラリア (1人) ベトナム (1人) インドネシア (2人) | 教授者 2人 補助者 2人 | 初級; ~です/~だと思います/ 中級; 使役形、許可 |
| 21 | 12月6日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 24人 | 中国 (11人) 韓国 (1人) イギリス (1人) カナダ (1人) ペルー (1人) 台湾 (2人) モンゴル (1人) オーストラリア (1人) ニュージーランド (2人) ベトナム (1人) インドネシア (2人) | 教授者 2人 補助者 2人 | 初級; 体の部分の言い方、普通体 中級; 使役受身 |
| 22 | 12月8日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 22人 | 中国 (11人) カナダ (1人) ペルー (1人) 台湾 (1人) モンゴル (2人) オーストラリア (1人) ニュージーランド (2人) ベトナム (1人) インドネシア (2人) | 教授者 2人 補助者 2人 | 初級; 病気表現 中級; 聞き取り練習 |
| 23 | 12月13日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 21人 | 中国 (9人) 韓国 (1人) イギリス (1人) スイス (1人) アメリカ (1人) カナダ (1人) オーストラリア (1人) ニュージーランド (2人) ベトナム (1人) インドネシア (2人) 香港 (1人) | 教授者 2人 補助者 2人 | 初級; 自己紹介と国の紹介で練習 中級; 予定・約束・予約の違い |
| 24 | 12月15日 18:00~20:30 | 2.5時間 | 24人 | 中国 (9人) 韓国 (1人) イギリス (1人) カナダ (1人) ブラジル (2人) 台湾 (2人) モンゴル (1人) オーストラリア (1人) ニュージーランド (2人) ベトナム (1人) インドネシア (2人) 香港 (1人) | 教授者 2人 補助者 2人 | 初級; スピーチ (自己紹介) 中級; テスト、修了式 |

(9) 特徴的な授業風景



オリエンテーション 2011.9.22



中級クラス 2011.9.27



中級クラス 2011.10.4



初級クラス 2011.11.1

4. 事業に対する評価について

(1) 当初の学習目標の達成状況

広島地域では、継続的に日本語が学べる場は、ボランティア教室以外にほとんどないと言ってよい。広島市では昨年度から「日本語教室」を開講しているが、これは指導者を対象とした講座である。また広島県では「ひろしま国際センター（HIC）」で、ボランティアによる1対1の「ワンペア日本語サロン」と、社会人や大学生のボランティアグループが教える日本語教室を開催しているが、具体的にカリキュラムや教材を持っているわけではなく、指導はボランティアに任せている。当事業は21年度から「日本語教育の専門家による日本語教室」と銘打って開催してきたが、予想外の参加希望があり、今年度は最初から2クラス設置して開講した。

初日プレテストをして、本人の希望と成績を照らし合わせてクラスを初級と中級に分けたが、初級の中でも全くのゼロレベルの人も何人か居て、予算が許すなら、初級の中を更に3グループぐらいに分けたかった。彼らのフォローは毎回アシスタントに入ってもらった。

初級クラス; 全く日本語が話せない、ひらがなも読めないレベルの受講者もいたが、途中でやめることもなく、24回目の修了式では自己紹介とお礼の言葉を伝えるほどになった。

中級クラス; 日常でのおしゃべりはできるが 敬語を使ったオフィシャルな会話になると難しいレベルの人が多かった。受講希望者が多く教室に入りきれな

いほどとなり、YMCAの好意で地下の実習室を借りることとなった。ディクテーションやロールプレイなどをして、2.5時間が瞬く間に過ぎてしまうほど楽しく、充実したレッスンだった。受講者の中には12月4日の「日本語能力試験」受講予定者も居て、積極的に講師に質問をする場面もあった。希望者には受験用の練習問題を渡した。昨年度の受講者も居て、60時間が短いとか、次はいつから始まるのかと学習教室の継続を望む声も多かった。

学習者の希望でアンケートよりも学習にその時間をあてて欲しいというので、今回は東京外国語大学からいただいた「居場所アンケート」をしてもらっただけにした。(参考資料)

(2) 学習者の習得状況；

60時間を休まず継続して学習するという事は特に仕事を持っている人たちにとっては厳しい。しかし皆勤賞が3人居た。昨年度の反省から3時間の授業を1回2.5時間にした。「来る者拒まず、去る者追わず」のスタンスで行くことにしたが、もう少し日本語能力に合わせて細かく指導ができれば、継続者も増え、より満足のいく学習をしてもらえたのではないかと思う。

初級クラスでは日本語によるロールプレイもお互いにできるようになったし、ゼロレベルの人も平仮名のプリントが読めるようになった。中級クラスでの最後のテストは確実に成績が上がっていた。

(3) 日本語教室設置運営の効果、成果

過去2年間は広島YMCAへ再委託という形で実施したが、本年度はYMCAの専任講師に個人的に依頼することにした。同じYMCA内なので、昨年度同様に連携をとりながら、カリキュラムの作成も教材選択も細かく打ち合わせすることができ、その指導を続けることができた。予算内に無いテキストもYMCAの教材から使わせてもらったり、コピーしたりすることができた。しかし、教室代、コピー代など別途の支払いとなり、特に教材用のコピー代は受講者も多かったために、予算を大幅に超えた。

今年度も受講者から60時間と限られた教室設置時間の延長希望が多くでたが、この3年間の設置運営の実績を広島県にも伝え、県としての日本語教室設置をお願いしているところである。(予算化されていないという理由で広島県の施策の中に入れてもらうのはまだまだ難しい)

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果等

地域のボランティアや、「同心会」「華僑華人総会」などの紹介で受講に来る人が多かった。「専門家によるきちんと日本語を短期間のうちに学びたい」という人たちが地域のボランティア教室とのちがいを認め、使い分けをし始めた。

3年度続けて開講したことにより、広島県国際課も関心を示してくれるようになった。(講座の見学を希望された)

(5) 改善点, 今後の課題について

① 現状

60 時間で終わらなければならない。

② 今後の課題

- a. 初級レベルこそ 専門家による効率的な、きめ細かな指導が必要
- b. 年間を通した、学習教室が必要 (60 時間では短い)
- c. 遠くから来る人のために 各地域での教室設置が必要。
- d. 昼間子どもが学校や保育園に行っている間に学習したい人がいる。
- e. 専門家としての日本語教師の確保

とかく、留学生には日本語教師という専門家が指導することは当然になっているが、生活者としての外国人にも「専門家」(謝金あり)に指導してもらえる仕組みが必要

③ 今後の活動予定, 展望

- a. 24 年度も文化庁の委託事業に申請予定
- b. これまでの委託事業とその実態を広島県、広島市に認識してもらい、広島地域での日本語教室設置へもっていきたい。
- c. HOPE プロジェクトとして、「専門家の養成プログラム」を作ったり、少人数の目的別教室を設置したい。

(6) その他参考資料

- ・アンケート (東京外国語大学「居場所感アンケート (日・ポ語・中・西・英)」)
- ・修了証書